

★①「適期に中干しを開始」しましょう！

★②「葉いもち対策を徹底」しましょう！



中干しの“開始適期”が早まりそうです。

適期を逃さず中干しを開始しましょう！！

生育概況

5月前半は、気温の寒暖差・日較差が大きく一部のほ場（軟弱徒長苗）で植え痛みが発生していますが、5月後半からは安定した天候が続いていることから、水稲の活着・初期生育は“概ね良好”となっています。なお、移植日や苗質の良否によってはほ場間の生育差が大きくなっています。

- ① 中干し・溝切り開始の遅れは、籾数過剰や倒伏が助長されることで結果的に“品質低下”の大きな要因となります。ほ場ごとの生育量＝「茎数」を確認して、遅れずに中干しを開始して下さい。
- ② 気温の上昇によりワキが発生し、生育停滞しているほ場があります。浅水管理の徹底から夜間落水や水の更新により“ガス抜き”しましょう！！

【5/30 生育の概要と平年比】

- *草丈：並み～やや長い 103%
- *茎数：並み～やや多い 114%
- *葉数：並み～やや早い +0.1



生育調査結果（5月30日調査）

① わたぼうし

	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	移植日
寺泊下桐	27.8	116	6.5	4/29
与板町江西	31.9	102	5.7	5/3
飯塚前之島	31.9	161	5.7	5/3
本年平均	30.5	126	6.0	-
平年値	27.7	106	6.0	-
平年比(差)	110%	119%	±0.0	-

② ゆきみらい

	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	移植日
和島上桐	27.8	106	6.4	5/5
三島中条	29.3	101	6.0	5/4
飯塚前之島	34.6	137	6.8	4/25
本年平均	30.6	115	6.4	-
平年値	29.9	141	6.2	-
平年比(差)	102%	82%	+0.2	-

③ 五百万石

	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	移植日
出雲崎馬草	25.3	225	6.6	4/29
三島上岩井	25.8	136	6.0	5/3
来迎寺前田	24.8	155	5.4	5/4
本年平均	25.3	172	6.0	-
平年値	24.2	133	5.7	-
平年比(差)	105%	129%	+0.3	-

④ ゆきの精

	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	移植日
出雲崎別ヶ谷	23.9	98	5.6	5/10
三島七日市	29.1	63	6.0	5/3
本年平均	26.5	81	5.8	-
平年値	26.0	130	5.9	-
平年比(差)	102%	62%	-0.1	-

⑤ あきだわら

	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	移植日
和島島崎	25.7	106	5.2	5/3
神谷中豊先	26.2	158	5.0	5/1
本年平均	26.0	132	5.1	-
平年値	26.9	122	5.5	-
平年比(差)	97%	108%	-0.4	-

⑥ 新之助

	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	移植日
和島日野浦	27.9	96	5.1	5/15
与板町江西	19.6	70	4.7	5/13
岩田原	16.0	84	3.5	5/18
本年平均	21.2	83	4.4	-
平年値	23.6	92	4.9	-
平年比(差)	90%	90%	-0.5	-

《 当面の重点技術対策 》

1. 適期：中干し開始（適正生育量の確保）

品種・圃場ごとの生育量（茎数）を確認して
適期に“中干しを開始”しましょう！！



（１）中干し開始の目安 … 目標茎数（目標穂数の８０％程度）を確保したら 速やかに！

品種名		わたぼうし	ゆきみらい	五百万石	ゆきの精	あきだわら	新之助
目標穂数		350 本/㎡	380 本/㎡	325 本/㎡	380 本/㎡	350 本/㎡	400 本/㎡
中干し 開始の 目安 (60 株植)	草丈	28 cm	30 cm	28 cm	30 cm	28 cm	30 cm
	茎数	280 本/㎡	300 本/㎡	260 本/㎡	300 本/㎡	280 本/㎡	320 本/㎡
		16 本/株	17 本/株	15 本/株	17 本/株	16 本/株	18 本/株
	葉数	7.0 葉					



※ 生育過剰になりやすい地域・ほ場では、早め（目標穂数の 70% 程度）の中干し開始を徹底して下さい。

※ 新之助は 50 株植の目標茎数となっております。

チェック！！

向こう 1 カ月の天候は平年より「気温：並み～高い」「降水量：並み～多い」不安定な天候となりそうです。
中干し開始が遅くなり過ぎると、生育過剰による“未熟粒の増加や病害虫の発生リスク”も高まり、品質低下につながります。開始適期を逸さないよう中干しを開始して本格的な梅雨前に「地固め」しましょう！！



（２）溝切り … 中干しの効果を高めるために、全ほ場で「溝切り」を実施しましょう！！

① 溝の間隔は「最低でも 10 条（3.0m）に 1 本程度」、② 溝の深さは「10 cm 以上」、③ 各溝の末端は必ず排水溝につなげましょう。作溝が不十分な場合は、再度溝切りを実施します。

* 参照：稲作情報 No.6

2. 葉いもち対策

契約栽培わたぼうしは、葉いもち防除が“必須”です！

（１）放置してある補植苗は、いもち病の発生源となります。→ 直ちに補植苗を撤去しましょう！！

（２）いもち病の発生しやすいほ場（常発地域・基盤整備あと・大豆あと）や品種（新之助等）で、育苗箱処理剤による葉いもち防除を実施していない場合は
中干し開始前までに予防粒剤による葉いもち防除を徹底しましょう。



資材名	10 a 使用量	使用時期	備考
ルーチン粒剤	1 k g	葉いもちの初発 7 日前（収穫 30 日前まで）	湛水散布

※ 「ツインパディート箱粒剤」で育苗箱処理した場合、ルーチン粒剤は使用できません。（重複使用 不可）

（３）茎数過剰は、葉いもちの発生を助長します。適期中干しにより過繁茂を防止しましょう。

えちご中越農業協同組合 ☎ 0 2 5 8 (4 1) 2 8 8 7	さんとう北営農センター	☎ 0 2 5 8 (7 4) 3 4 3 4
	さんとう営農センター	☎ 0 2 5 8 (4 2) 4 1 3 3
	こしじ営農センター	☎ 0 2 5 8 (9 2) 5 6 0 6

(^^)/ 営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ (^^)/